



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年2月25日

我孫子市小中一貫教育だより  
第372号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ふるさと・キャリア「日本の自然災害と防災の取組」

高野山小学校 5年生社会科で Abi-ふるさと・Abi-キャリアの学習として「日本の自然災害と防災の取組」の授業が展開されました。災害の種類や防災対策などについて必要な情報を集め、国土の自然災害の状況を考え、防災意識を高めることが目的です。

まず、我孫子市で起こりうる自然災害について、どんな備えが必要か日頃の経験をもとに考えました。そこで、子どもたちが挙げた災害は「地震」と「風水害」でした。数年前の大雨による冠水で交通網が麻痺した経験を基に、高野山周辺は高台と低地の入り組んだ場所であり地形も考慮する必要があることに気付きました。次に、我孫子市では災害に対しどのような対策が行われているかを調べました。我孫子市地域防災計画を読み、友だちと協働しながらタブレットを使い調べてまとめました。地震災害や風水害で起きうる「ライフラインの被害」や「避難者の傾向と対策」を想定し、我孫子市が作っている支援体制や災害予防に行われている市の取組みを理解しました。



振り返りでは、我孫子市の防災に向けた対策や事業の役割を認識し、公助だけでなく「家族で避難所の確認をしよう。」や、「うちは防災バックをつくっている。」など自助的な視点も加わり、防災への意識を高めるといふ本時のねらいに迫る授業となりました。

### Abi-キャリア「いのち・こころ・からだ」の学習

湖北台東小学校 2年生で Abi-キャリア「いのち・こころ・からだ」の学習が行われました。2年生では、自分は、おうちの人の愛情が結ばれて生まれてきたことを知り、自分のいのちを大切にしようとすることをねらいとしています。



胎児の心音と超音波の写真を見て、「いのちはどのように始まったのだろうか」という疑問から授業が始まりました。まず、いのちのもとである卵子の大きさを確認しました。卵子の大きさを知ると、自分がそんなに小さかったことに驚きました。また、2カ月の胎児は、体長2センチメートル、重さは4グラムで1円玉4枚と同じなのに、心臓が動き、肺や背骨ができていることにも驚いていました。10カ月間、お母さんのお腹の中で少しずつ大きくなっていく胎児の様子を知り、おうちの人が自分のいのちを大切に守ってくれたことにも気が付きました。



最後の振り返りでは、精子と卵子はおうちの人がお互いが好きだから結びついて赤ちゃんができたことや、生まれてきたことをおうちの人に感謝する気持ちなど、学んだことを基に考えたことが発表されました。発見や驚き、愛情と感謝があふれる授業でした。